



夏秋キャベツ出荷量日本一の大産地 J A 嬬恋村の高原キャベツを都内でPR!

J A 嬬恋村高原キャベツフェア

- 期日：7月31日(金)～8月2日(日)
- 場所：都内量販店 (イオン、サミット、マミーマート、東急ストア 等)
- 主催：J A 嬬恋村、J A 全農ぐんま、群馬県
- 内容：販促資材を活用したJ A 嬬恋村産高原キャベツのPR

「キャベツ王」ポスターで群馬県産キャベツをPR!

現在出荷最盛期を迎えている嬬恋村産高原キャベツをPRするために、7月31日(金)～8月2日(日)の3日間、都内の複数の量販店で「J A 嬬恋村高原キャベツフェア」が開催されました。現在は、新型コロナウイルス対策のため店頭での試食宣伝が行えない状況ではありますが、ポスターやポップなどの販促資材を活用した売り場作りやノベルティの配布によるPR活動が行われました。

また、夏秋キャベツについては、農林水産省が調査する野菜生産出荷統計において、夏秋キャベツ出荷量で群馬県が50年連続日本一という偉業が達成されました。今回のフェアでは、50年連続日本一を記念したポスターやポップが作成され、各店舗の売り場でPRに活用されました。



キャベツ売り場の様子

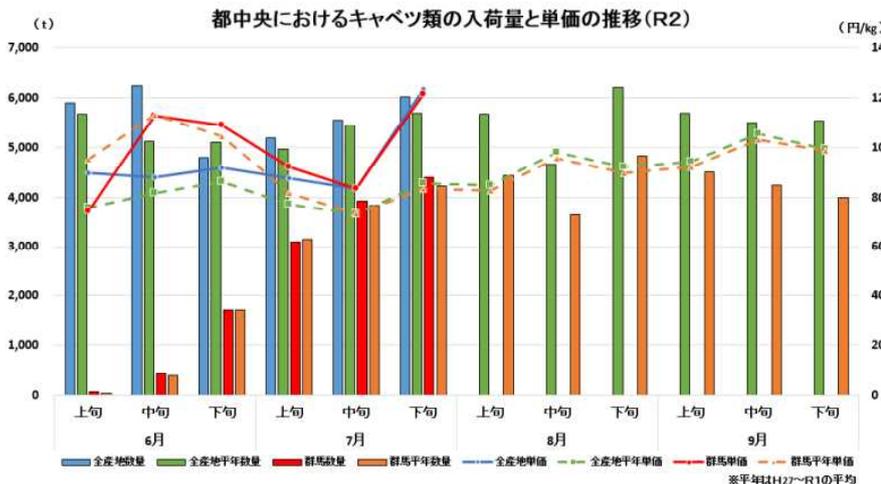


50年連続日本一記念ポスター

東京都中央卸売市場におけるキャベツ類の動向

都中央におけるキャベツ類の入荷量は、6月以降は全産地、群馬県産ともに平年並み～やや上回る状況が続きました。単価については、全産地、群馬県産ともに平年を上回る単価で推移し、7月下旬では前年比約145%と非常に高い単価となりました。7月下旬の単価高騰の要因としては、連休により巣籠もり需要が高まったことに加え、キャベツ類と用途の重なるレタス類の入荷量が長梅雨の影響により大幅に減少し、カット野菜を中心とした加工需要でのキャベツ類の引合いが強まったためと考えられます。

今後については、群馬県産キャベツは順調な出荷が見込まれることから、数量の増加とともに単価は徐々に落ち着いていくと予想されます。



レタス類入荷量(全産地) 単位:t			
	7月		
	上旬	中旬	下旬
R1	3,192	3,185	2,747
R2	2,972	2,737	2,597
平年	3,209	3,082	3,277
前年比	93.1%	85.9%	94.5%
平年比	92.6%	88.8%	79.2%

レタス類入荷量(群馬) 単位:t			
	7月		
	上旬	中旬	下旬
R1	393	353	345
R2	382	266	240
平年	400	381	424
前年比	97.2%	75.4%	69.7%
平年比	95.5%	69.9%	56.8%